

科目名	思考法と課題解決法		Subject	Thinking & Solving problem Method				
サブタイトル	「答えのない」「先が見えない」世の中を、楽しく生きるために欠かせない、唯一のチカラを学びます！							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	前期	必修						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回		なし		○	◎	○		○
教員名	鳥羽瀬 建			メールアドレス	ken.tobase@skycampus.jp			
教員の略歴	外資系コンサルティングファームで戦略チームに所属。数多くの企業のビジョン策定、事業戦略策定、M&A、組織変革プロジェクトに従事。コンサルタントに向けての論理的思考法と課題解決法に関する研修を担当。現在は当該研修を中心に様々な研修を数多くの企業に提供している。							
実践的教育	コンサルティング実務の経験や、実施した論理的思考力、課題発見・解決力研修の思想を活用する。							
オフィスアワー	授業の前後30分に直接声をかけてください。							

科目の概要																	
成長期の日本においては、誰が何を考え何をすべきか。いつもで社会が見本を用意してくれていました。これからは先の見えない時代。答えは誰も用意してくれないので自分で考えるしかありません。この授業では、そのような先が見えない世の中を主体的に生きていくためのチカラを「ロジカルシンキング」という手法を通じて身に着けます。このチカラが身につくと、身の回りに起こるありとあらゆる出来事や問題について、あなたがどのように受け止め、どのように考え、何をするのか。自分が納得できる答えを出し、周囲の人や社会に対しても誤解なく正確にその内容を伝えることができますようになります。進め方について。前半は講義です。ロジカルシンキングについての基本的なやり方を、身近なケースを用いて解説していきます。後半は実践。「考え方」を身に着けるためには知識を得ただけでは不十分。実践あるのみです。身の回りの課題を発見し、最高の解決方法を作り出し、提案するプロジェクトをグループワーク形式で行います。最終回は各グループによるプレゼンテーションを行います。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
－		○		－		あり		あり		－							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
DP3		データや様々な思考法を用いて、課題を分析、解決策を想定できる。															
DP2		社会や自分の状況を把握し、設定した目標を達成するためのプロセスを設定できる。															
DP4		自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を理解し、尊重することができる。															
DP6		自分が豊かな人生を送るための考え方を説明することができる。															
教科書・教材																	
教科書		教員作成資料															
参考文献		なし															
各自準備教材		なし															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
－		－		－		－		50%		50%		－		－		－	
1 最終プレゼンテーション（50%） 授業の最終回で発表していただくプレゼンテーションの内容で評価します。 2 小レポートおよび期末レポート（50%） 各授業毎の小レポートと期末レポートの内容で評価します。評価の視点は①、②どちらも「論理性」です。 なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
小レポートについては次回授業時に総括コメントを返します。																	
履修上の条件・注意																	
小レポートは、授業を振り返ることで知識を定着させる効果があります。積極的な記入をお願いします。 グループワークは様々な考え方が拮抗することでアウトプットの品質が上がります。グループ全員、議論への積極的な参加をお願いします。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合があります。																	
本科目履修と関連する資格																	
なし																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 授業の狙いとゴールを共有 ロジカルシンキングとは。 ビジネスとの関連性を学ぶ。	ロジカルシンキングを学ぶ意義について理解し、説明することができる。本授業の到達点を把握し、準備できる。	【予習】論理的とは何かについて考えてくる。30 分 【復習】身近な出来事について試しにロジカルに考えてみる。30 分	60 分
第 2 回	タテの論理 帰納法と演繹法について学ぶ。	帰納法と演繹法を理解し、説明することができる。演繹法と帰納法を使って、ロジックを組み上げることができる。	【復習】帰納法と演繹法を用いて身近なテーマを考え、レポートにまとめる。	60 分
第 3 回	ヨコの論理 MECE という概念について学ぶ。	MECE という概念を理解し、説明することができる。あらゆるものについて、MECE で分類することができる。	【復習】MECE という概念を用いて、身近なテーマについて分類し、レポートにまとめる。	60 分
第 4 回	ヨコの論理 2 ビジネスにおける MECE、フレームワークについて学ぶ。	ビジネスにおけるフレームワークを理解し、説明することができる。	【復習】身近なビジネスについて、学んだフレームワークを用いて分析してみる。	60 分
第 5 回	ロジックツリー 1 要素分解ツリーを学ぶ。	ロジックツリーの種類について理解し、説明することができる。ロジックツリーを用いあらゆるものを要素分解することができる。	【復習】身近なテーマについて、ロジックツリーを用いて要素分解し、レポートにまとめる。	60 分
第 6 回	ロジックツリー 2 原因追及ツリーを学ぶ。	原因追及ツリーについて理解し、説明することができる。ロジックツリーを用い、問題の原因を網羅的に検討することができる。	【復習】身近なテーマについて、ロジックツリーを用いて原因分析し、レポートにまとめる。	60 分
第 7 回	ロジックツリー 3 問題解決ツリーを学ぶ	問題解決ツリーについて理解し、説明することができる。ロジックツリーを用いて問題解決の手段を網羅的に検討することができる。	【復習】身近なテーマについて、ロジックツリーを用いて問題解決策を洗い出し、レポートにまとめる。	60 分
第 8 回	ピラミッドストラクチャー ロジカルに伝える ロジカルシンキングが伝えるためのツールであることを学ぶ。	ロジックツリーを用いて論理的なプレゼンテーションができる。	【復習】以前考えてきたロジックツリーについて、プレゼンテーションの構成を考え、レポートにまとめる。	60 分
第 9 回	仮説思考 仮説思考についての理解とその使い方について学ぶ。	仮説思考の効果について理解し、説明することができる。フェルミ推定の問題に回答できる。	【復習】与えられたフェルミ推定の問題について検討し、レポートにまとめる。	60 分
第 10 回	【実践編】問題を把握する。	プロジェクトのやり方について理解し、説明することができる。身の回りに起こっている問題を発見することができる。	【復習】プロジェクトで検討するテーマ（問題）についてグループでさらに議論を深める。	60 分
第 11 回	【実践編】原因分析 原因分析の実践方法を学ぶ。	身の回りの問題に対し原因を掘り下げ、根本的な課題を発見し説明することができる。	【復習】問題の原因分析についてグループでさらに議論を深める。	60 分
第 12 回	【実践編】解決策立案 解決策立案の実践方法を学ぶ。	自ら抽出した課題について、解決策を洗い出すとともに説明することができる。	【復習】解決策についてグループでさらに議論を深める。	60 分
第 13 回	【実践編】施策の評価 施策を評価し、優先順位の高いものを抽出する方法を学ぶ。	様々な施策について複数の視点から評価を行い、優先順位をつけることができる。	【復習】施策の評価と優先順位についてグループでさらに議論を深める。	60 分
第 14 回	【実践編】プレゼンテーション準備 プレゼンテーションの様式について学ぶ。	ロジックツリーを元に、プレゼンテーションの構成を起すことができる。	【復習】プレゼンテーションについてグループでさらに議論を深める。	60 分
第 15 回	【実践編】プレゼンテーション ロジックツリーに基づいた論理的なプレゼンテーションの実践を行う。	ロジカルな誰にでも正確に意図が伝わるプレゼンテーションができる。	【予習】プレゼンテーションの構成と内容を検討する。	60 分